

議会だより

9月議会定例会

提出議案	2~3
一般質問(5名)	4~8
告知欄	9
歳時記	10
議会運営委員会・議会だより 編集委員会合同視察研修	11
議会視察研修	12



仁王尊 三重塔

九月議会定例会

九月十一日から十四日までの会期で開催されました。

町から提案された議案は十一件、報告・認定各一件が提出されました。最終日の十四日に採決の結果、議案九件は原案どおり可決、二件は原案どおり同意されました。認定一件は、委員会に付託され十二月までの継続審査となりました。

一般質問は、五名の議員が町の諸問題について見解を求めました。

議案の概要

議案第1号

郵政民営化並びに証券取引法等の一部を改正する法律の施行に伴い、「郵便貯金」及び「金銭信託」の削除など、用語の整備を行うもの。

議案第2号

法定外公共物から発生する土石、竹木、芝草等の産出物を採取する採取料の額を追加するもの。
※法定外公共物 道路法の適用を受けない道路、河川法の適

用又は準用を受けない河川、水路、池沼等

議案第3号

契約目的
地域交流パーク造成工事
工事場所 小池883番地1他
契約金額 60、795千円
契約方法 指名競争入札
契約の相手 芝山町大里155
3番地3 萩原土建(株)

議案第4号

契約目的

地域交流パーク建設工事

工事場所 小池883番地1他
契約金額 162、750千円
契約方法 指名競争入札
契約の相手 芝山町小池133
6番地1 (株)真行寺建設
議案第5号
任期満了に伴うもので、新たに小川総夫氏(中郷)が任命されました。

議案第6号

任期満了に伴うもので、新たに石田弘一氏(小池2)が選任されました。

報告第1号

継続事業であった防災行政無線更新事業の終了による、清算の報告です。

17年度

104,097,000円

18年度

120,655,500円

総額

224,752,500円

平成19年9月芝山町議会定例会提出議案

議案第1号

政治倫理の確立のための芝山町長の資産等の公開に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第2号

芝山町法定外公共物管理条例の一部を改正する条例の制定について

議案第3号

工事請負契約の締結について

議案第4号

工事請負契約の締結について

議案第5号

教育委員会委員の任命について

議案第6号

固定資産評価審査委員会委員の選任について

議案第7号

平成19年度芝山町一般会計補正予算について

議案第8号

平成19年度芝山町国民健康保険特別会計補正予算について

議案第9号

平成19年度芝山町農業集落排水事業特別会計補正予算について

議案第10号

平成19年度芝山町公共下水道事業特別会計補正予算について

議案第11号

平成19年度芝山町介護保険特別会計補正予算について

報告第1号

平成18年度芝山町継続費精算報告書について

認定第1号

平成18年度芝山町歳入歳出決算認定について

平成19年度芝山町補正予算について (第7・8・9・10・11号)

(単位:千円)

会計名	補正の内容	補正前の額	補正後の額
一般会計	歳入は、繰入金、繰越金、国・県支出金の増額、歳出は、空港対策費、税の還付金や還付加算金、道路橋梁災害復旧費、道路新設改良費の増額、診療施設勘定への繰出金の減額、人件費の組み替えの補正。	5,070,500	5,151,745
特別会計	事業勘定 歳入は、繰越金の増額、国民健康保険税の減額、歳出は、介護納付金、精算に伴う退職者医療給付金と療養給付費負担金(補助金)の返還金の補正。	916,488	921,307
	直診勘定 歳入は、繰越金を増額し、一般会計繰入金を減額、歳出は、工事請負費を増額、人件費の組み替えの補正。	44,685	41,503
	農業集落排水 繰入金・繰越金を財源として、工事請負費の増額、人件費の組み替えの補正。	80,930	81,297
	公共下水道 繰入金・繰越金を財源として、人件費の組み替えの補正。	434,610	441,823
	介護保険 歳入は、支払基金交付金、県支出金、繰入金を増額、歳出は総務管理費、介護サービス等諸費の増額、介護予防サービス等諸費の減額、精算に伴う介護給付費負担金の返還金の補正。	424,092	435,596

平成18年度芝山町歳入歳出決算認定について (認定第1号)

(単位:千円)

会計名	歳入総額	歳出総額	差引額	うち翌年度へ繰り越すべき財源	実質収支額	
一般会計	5,444,187	5,217,807	226,380	81,887	144,493	
特別会計	国民健康保険(事業勘定)	921,710	795,349	126,361	-	126,361
	(直診勘定)	46,406	40,929	5,477	-	5,477
	老人保健	654,710	613,290	41,420	-	41,420
	農業集落排水	80,298	80,072	226	-	226
	公共下水道	370,085	362,338	7,747	-	7,747
	介護保険	390,862	370,786	20,076	4,630	15,446

〔請願・陳情〕

請願第4号

悪質商法を助長するクレジットの被害を防止するため、割賦販売法の抜本的改正に関する請願書 採択

陳情第2号

後期高齢者医療制度を抜本的に見直すよう国への意見書採択

を求める陳情書

継続審査

議員発議案第1号

割賦販売法の抜本的改正に関する意見書 原案可決

議員発議案第2号

千葉県知事に提出する市町村合併についての意見書 原案可決

第二回臨時議会

平成19年第2回臨時議会を、7月6日に開催しました。
町長から提出された議案一件は、可決されました。

◎工事請負契約の

締結について

契約の相手 山武市松尾町八田
22番地1 (株)大松建設

◎議員発議案第1号

東小学校講堂改築2級併行防音工事請負契約の締結にあたり、議会の議決を求めるもの。
日豪EPA/FTA(経済連携協定/自由貿易協定)交渉に関する意見書 原案可決

契約金額 196,350千円 原案可決

契約方法 指名競争入札

一般質問



川口 幸雄 議員

合併問題

問 成田市を中心として合併を予測しながら町政運営をする事が肝要であると思いますが現況及び今後については。

答 【町長】 千葉県市町村合併構想で成田市地域に指定されておりませんが、成田市は非常に慎重であります。

問 急速に進む少子化に伴い町民減少にどのように対処するか。仮に部分的に増えたとしても昔から歴史

のある集落が衰退してはならないと思うが。

答 【町長】 次世代育成支援行動計画の事業拡大・保育の充実・出産祝金の支給・千代田駅周辺の整備を進めますが、地域が疲弊や衰退しない様に人口増を図ります。

問 公共下水道が一ヶ所、農業集落排水が二ヶ所、その他の地域はどの様に進めるのか。

答 【町長】 公共下水道の千代田処理区及び浄化槽設置整備事業で、適正に

下水道問題

推進を図っていききたい。

問 整備が大変遅れている本町ですが、人口下落を上昇に転じさせる有効な施策は。

答 【町長】 芝山町下水道基本構想を平成十三年度に策定しましたが、現在進行中の下水道事業を完成させる事が先決であります。



山中新道

問 事業の早期完成を望む人々が大勢いますので、事業の進捗状況及び今後の計画は。

答 【建設課長】 計画総延長約千メートルで、道路詳細設計・用地測量は終了しております。今年度は用地取得その後、土工事、それから舗装工事と分けて実施します。

危険箇所道路の対策

問 町道、竜ヶ塚地先は通学時大変危険であり、芝山タクシー前は事故が多発しております。県道高谷地先も通学時心配であります。対策は。

答 【建設課長】 竜ヶ塚地先については詳細設計業務を委託しております。芝山

タクシー前は早期解決の必要性はありますが他に同様の問題がありますので順次着手していきたい。県道高谷地先の歩道整備は成田整備事務所へ町から要望しております。

高谷川の浚渫

問 昨年の九月議会ですら同じ質問をしておりますが、本来の川の機能を果しております。上流の区より強い



要望が出ておりますが県及び当町の今年度事業計画はありませんか。

答 【町長】 県が管理者でありますので、成田整備事務所へ要望を繰り返して行っておりますが、町としても補助的な役割として実施していきたい。

圏央道の対応

問 殿部田地先の土盛り計画ですが、騒音や車の排気ガス等環境悪化が懸念されます。境地先も同様であります。

答 【町長】 殿部田については住宅や活動している所は、ジョイントレスの橋である高架で事業を進めてほしいとお願いしております。境についても防音壁を要求していきたい。





小嶋 秀樹 議員

町の財政について

問 構造改革政策により、自治体間に財政力格差が生じています。これを改善する施策は、

答 物流企業の進出により、法人住民税などの税収が伸びているので、これを原資として事業を展開し、格差の是正に努めます。

問 います。また、「風和里しばやま」の事業展開により、雇用対策と人口流出の歯止めとしたい。

問 町民一人あたりの予算は六十万三千円もあるのに、豊かさを実感できないのは使い方に問題があるのではないか。

答 今後、健全化判断比率の数値が示されませんが、本町の場合、さほど問題ないと考えます。

えないのは残念です。地方自治体財政健全化法とは

問 来年度の予算編成にあたり、費用対効果や収支改善への対応が必要と思うが。

答 介護保険法の改正後、認定基準が厳しくなり、ランクが引き下げられ、サービスの低下が起きている。本町の現況は。

問 介護保険の現状は

答 介護保険法の改正後、認定基準が厳しくなり、ランクが引き下げられ、サービスの低下が起きている。本町の現況は。

ことで削減できます。収支だけで存廃を論じることのできないものもあります。

問 介護保険法の改正後、認定基準が厳しくなり、ランクが引き下げられ、サービスの低下が起きている。本町の現況は。

答 今後、健全化判断比率の数値が示されませんが、本町の場合、さほど問題ないと考えます。

教育改革について

問 学力低下の予防策として、授業数の増加と教育予算の増額が有効だと思うが。また、他に方策はあるか。

答 本町でも様々な取り組みをしていますが、授業時間数が足りません。学校現場に負担を強いなければ賛成です。少人数学級の促進、専科教員・司書教諭の配置などの必要性から、予算を増額すべきです。他の方策は、教師の事務作業を軽減し、子どもと接する時間を増やすこと。教育活動を支援するサポートスタッフ制を導入することです。

問 学力低下の予防策として、授業数の増加と教育予算の増額が有効だと思うが。また、他に方策はあるか。

答 本町でも様々な取り組みをしていますが、授業時間数が足りません。学校現場に負担を強いなければ賛成です。少人数学級の促進、専科教員・司書教諭の配置などの必要性から、予算を増額すべきです。他の方策は、教師の事務作業を軽減し、子どもと接する時間を増やすこと。教育活動を支援するサポートスタッフ制を導入することです。

問 雇用対策と人口流出の防止策として、「町民のやる気」を喚起するような施策を実施すべきと思うが。



答 物件費は工夫次第、建設事業費は補助対象の選択を計画的に図るべきと思うが。

問 長期入院を受けられる医療療養病床



問 長期入院を受けられる医療療養病床



勝又 勇 議員

合併に対する町長の考え方

問 六月議会で合併を見送ったとの答弁がありました。どのような理由で決めたのか。町民にわかりやすく説明していただきたい。

答 【町長】

対等か編入かということではなく成田空港圏合併をしていくかということが確認できず、条件が醸成されていないかと思えます。

問 三町での合併の話が出てから約五年、最初から町民と町長の合併に対する考え方に違いがあるように思うが。

答 【町長】

合併については以

前より町民の意見を伺いながら議会と協議を進めています。千葉県市町村合併推進構想の中、二市四町を基本として推進していきたいと考えています。

問 町民アンケートの中に時期にこだわらないという意見がありました。私はあの時が最良の時だったと思うが、町長はどの時期が最良の時だったと思っているのか。

答 【町長】

区長会の会議の中でも合併を取りあげましたが方向性は間違えないようにという意見はありませんが早くという意見は皆無に近か

った。もう一度地域の方々の意見を聞いて町に教えてほしいと思います。

問 成田地域合併町づくり研究会の目的・会議内容・また十二年以降も続けるのか。

答 【企画財政課長】

広域的な町づくりに係わる諸問題を調査研究するのが目的で、議題は「これまでの空港圏における各種計画・構想」「各市町の現状と推計」「目指すべき国際空港都市の姿」の三点については話し合っています。今後いつまで続けるかは話し合われていません。

町民の医療の安心と災害の安全

問 救急医療体制が不安定な中、町民が安心して暮らし、健康を守るため町としてどの医療機関を軸に考えているのか。

答 【福祉保健課長】

町営の国保診療所、参画している成東病院を本来なら軸とすべきですが、規模的・地理的にも無理があり、多

古中央病院・成田日赤・高根病院にも補助金を交付しています。これからは山武地域医療協議会・二次救急医療輪番制検討協議会などに依存しながら医療機関

災害協力会の最大の協力が必要であります。災害時要援護者の方々には、家族・地域が人間関係を深めながら防災意識の高揚に努めたいと思います。

全体で考えていきたいと思えます。

問 各地で災害弱者に

対してどのような対応をして不安をなくし生命・財産を守ろうとしているのか。

答 【総務課長】

大きな災害が発生した時、町の職員の数でどのくらいの対応ができるか、消防団・





萩原 弘幸 議員

町政運営の軸足は

問 規制改革と大企業
優遇の逆立ちした
行財政運営が住民生
活・地域経済
をより深刻化
させておりま
す。今後、パ
ブル期のような
箱物行政に
走るのか、住
民の福祉・暮
らし優先の町
づくりを進め
るのか、その
軸足は。

答 【町長】
行政の役
割は軸足を一
点に集約する
ことは難しい
し、そうすべ
きではないと

町長の政治姿勢について

思っております。それ
ぞれの場面に合った
施策を進めることが大
切であると認識してお
ります。

町長交際費に ついて

問 町政運営の公正・
公平・透明性を主

張されたが、町長交際
費の使途規定は検討さ
れたのか。

答 【町長】

町長交際費の執行
基準等々については、
現在検討中です。この
ことが透明な行政を進
める一つの指針になり
ますので、早い時期に
決めたいと思います。

受益者負担の 軽減は

問 インフルエンザ予
防接種の受益者負
担を成田市、富里市並
に軽減すべきとの問い
かけに、山武保健衛生
部会に提案して検討す
ることですが、具体的
な結論は。

答 【町長】
町では65才以上の
高齢者を対象に一回の
接種につき千円を助成
しております。受益者
の負担は千五百円から
三千円となっております。
妥当な額だと思ってお
ります。

騒音下住民の 健康被害 調査を

問 成田市では平成十
七年と十八年に
「地域の環境と生活に
関する調査」を実施し、

今年三月に専門的視点
からの報告書が取りま
とめられています。

本町でも、騒音は受
忍の限度を超えている。
頭痛薬を常備している
など、住民の不安が高
まるなかで調査を実施
し、対策を講ずるべき
と考えるが。

答 【町長】

成田市が行った調
査結果では、夜間の睡
眠妨害をはじめ、住民
の半数の方が生活に

影響を感じていること
がわかりました。今後、
成田市と連携をとりな
がら情報を共有し対策
を考えていきたいと思
います。

住民要望に答える 新たな財源を

問 空港づくりだけが
先行し住民対策は

二の次、これが国・空
港会社の姿勢ではない
か。
「法定外目的税」を
創設し、新たな財源で
住民の要望に答えるべ
きと考えるが。

答 【町長】

空港周辺の整備振
興を図るためには空港
会社からの交付金だけ
では足りないことから
新たな財源措置を講じ
ていかなければなりま
せん。法定外目的税を
含めて具体的に検討し
ていきたいと考えます。





大木 成男 議員

財政力指数について

問 私が議員になった時、芝山町は千葉県内数少ない過疎指定の町でした。当時の町長・議員も将来が良くなればと一生懸命努力したのが、今花が咲き県内町村で唯一の不交

答 いたにもかかわらず、金が無いのでまだ出来ないという理由は。

町長 これは町民福祉、町づくりのため計画の中で優先的に予算化し、

行政としてやってまいりたいと思います。

問 近隣の市・町の交

町長 付団体の開発は我が町より活発と思うが、

民に還元してまいります。

問 指数が良い今こそ「人口増」「上下水道」「道路整備」等々を進めるべきと思うが。

町長 後期基本計画により毎年実施計画を策定し順次計画的に進めてまいります。

合併問題について

問 二市四町合併の見通しはどうか。又、二十年・三十年先に合併が延びるかも知れないか。

町長 私はそんなに長い時間かかったら、合併新法の意味がないと思うし、二市四町の首長の話し合いが予定されることになっております。

開発問題

問 物流の芝山町の現状と今後は。

町長 今、多くの企業が町に進出し、又、開発申請が出ています。空

また、地域の個性を生かした交流パークを、いろいろの観光情報発信等してまいりたいと思っております。

港直下隣接したところについて、開発を進める様にしたいと思っております。

問 地域交流パークに関する計画はどうか。

町長 市民農園等々希望する住民が増加傾向に有りますので、関係者のご理解をいただき実施に向けて検討してまいります。



町長 私どもの先人の方々が堅実にやってきたことが、今いきていると思っております。財政力指数は出来れば1・5に近づけ町民負担を少なくしながら町の施策に当てればと思っております。

問 不交付の芝山町なのに約束ができて

議会の主な動き

7月18日	大網白里町議会総務常任 委員会来訪	9月8日	芝山中体育祭
7月28日	ほたる祭り	9月11日～14日	議会定例会
7月29日	第17回芝山町消防ポンプ 操法大会	9月16日	敬老会
7月31日	議会運営委員会	9月25日～26日	議会運営委員会・議会 だより編集委員会合同 視察研修
8月17日	全員協議会	9月27日	拡大空港対策委員会
8月24日	合併推進特別委員会	10月2日～4日	議会視察研修
9月1日	第2回カローリング大会	10月7日	第44回町民体育祭
9月3日	議会運営委員会	10月9日	議会だより編集委員会 議会運営委員会
9月7日	空港対策委員会 全員協議会 成田空港五番街視察		

合併について

今後の市町村合併については、「成田空港周辺2市4町での空港圏合併を推進して欲しい」という内容の要望書を9月議会定例会において議員発議により議決し、千葉県知事に提出しました。

12月議会定例会のお知らせ

期日 **12月11日～14日** (予定)

多くの方々の傍聴をお待ちしています。

※日程等の詳細は議会事務局 TEL77-3922まで



消防ポンプ操法大会



拡大空港対策委員会



町民体育祭

議会運営委員会・議会だより編集委員会合同視察研修

九月二十五日～二十六日

議会運営委員と議会だより編集委員八名、町長と事務局長の計十名で群馬県中之条町を訪問し、議会運営や議会だよりのあり方について研修を行いました。

中之条町は人口約一万八千人、議員定数は、今年五月の改選で二十人から十六人に削減されました。議会の内容としては、毎年三月の定例会では事前通告をしない総括質疑という方法で質問するそうです。珍しいケースなので全員の委員から様々な質問が出されてたいへん盛り上がりました。質問者は毎回三名から五名ぐらいで、傍聴の方も二十人前後来るそうです。

議会だよりは臨時号も含めて百四十号まで進み、本町の約倍の発行回数です。作成時の苦労話などを話し合い、たいへん参考になりました。会議後、約十四億で建設中の「クローズド型一般廃棄物最終処分場」を視察し、丁寧な説明を受けてたいへん勉強になりました。

中之条町長はじめ議会のみなさまに感謝するとともに、教示いただいたことを本町のために役立てたいと思います。



芝山鉄道小池まで早期延伸

芝山町議会

議会視察研修10月2日～4日

北海道の東部オホーツク海に面した小清水町を訪問し、視察研修を行いました。面積は芝山町の八倍以上、人口は五千七百人、農地の平均耕作面積は二十五ヘクタールもあります。超大型機械によるアメリカ型農業を実践しており、平均所得二、三千万円の畜産業が主力で水田はまったくないとのことでした。

J Aこしみず式資源循環型農業の「ゆう水栽培」について説明を受けました。牛の汚物やでんぷんカスを使い、土壌微生物を活性化させて土作りをするというものです。臭気はまったく出さないとのことです。

農業体験青年（女性）受入れ事業では農業の魅力や役割に理解を深め、町の担い手として定住の促進を図る目的で進められ、ファームステイの体験を通じ、年一組程度の結婚が成立しているそうです。博物館網走監獄では、北海道の開拓には多くの囚人が関わったことが説明されました。また、標津サーモン館ではサケの種類や回帰の状況などについて研修しました。

地方自治体も大変な時代に突入していますが、今回の研修を基に町の発展に役立てて行きたいと思えます。



編集後記

厳しい暑さも終わり、過ごしやすいた陽気になってまいりました。議会だより七七号をお届けします。早いもので、私どもの任期もあと四ヶ月あまりとなりました。読みやすく、親しまれる紙面づくりを心掛け、最後まで全力で取り組んでまいります。